

ゆりはま 議会だより

Vol. 68

令和2年11月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



上下水道料金の改定
たじりこども園移転に着手
コロナへ新たな支援

8

10

12

「それ引け今だ」
(羽合小学校運動会)

9月
定例会

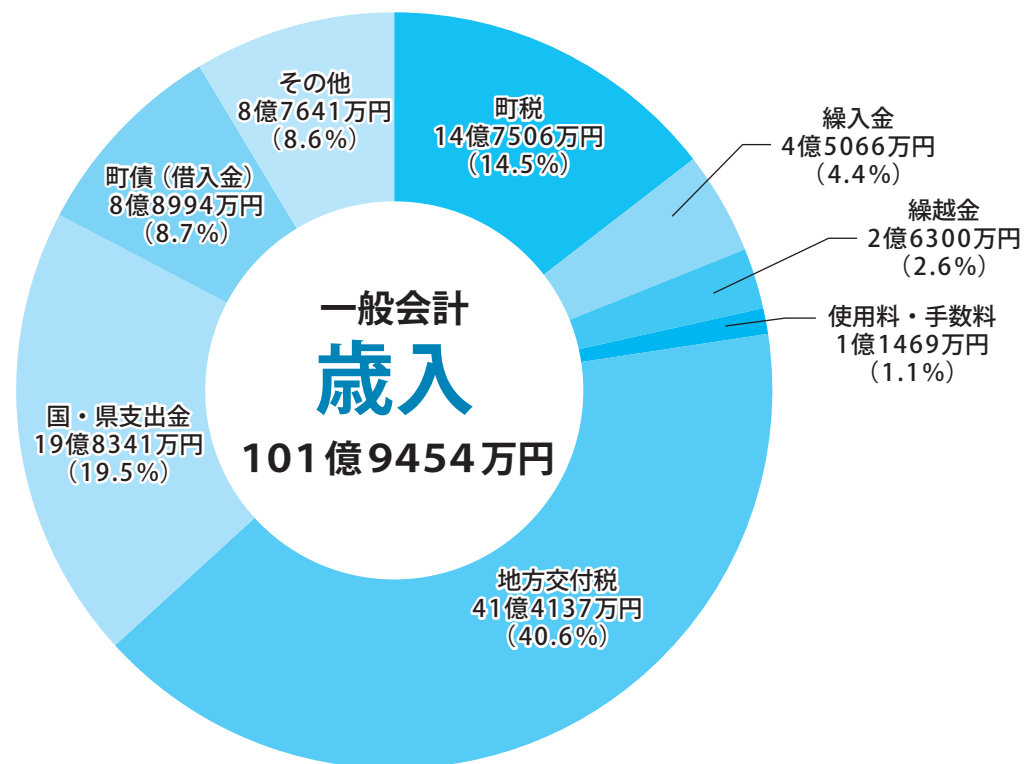
減少し、財政の健全化へ

9月定例会は、9月11日から29日まで開かれました。

令和元年度決算認定は、決算審査特別委員会を設置し審議し、本会議で17会計すべての決算を原案のとおり認定しました。

また、町長から提案のあった補正予算、条例の制定など14議案も原案どおり可決しました。

一般質問では、6人が登壇し、町政全般にわたり町長、教育長に質問しました。



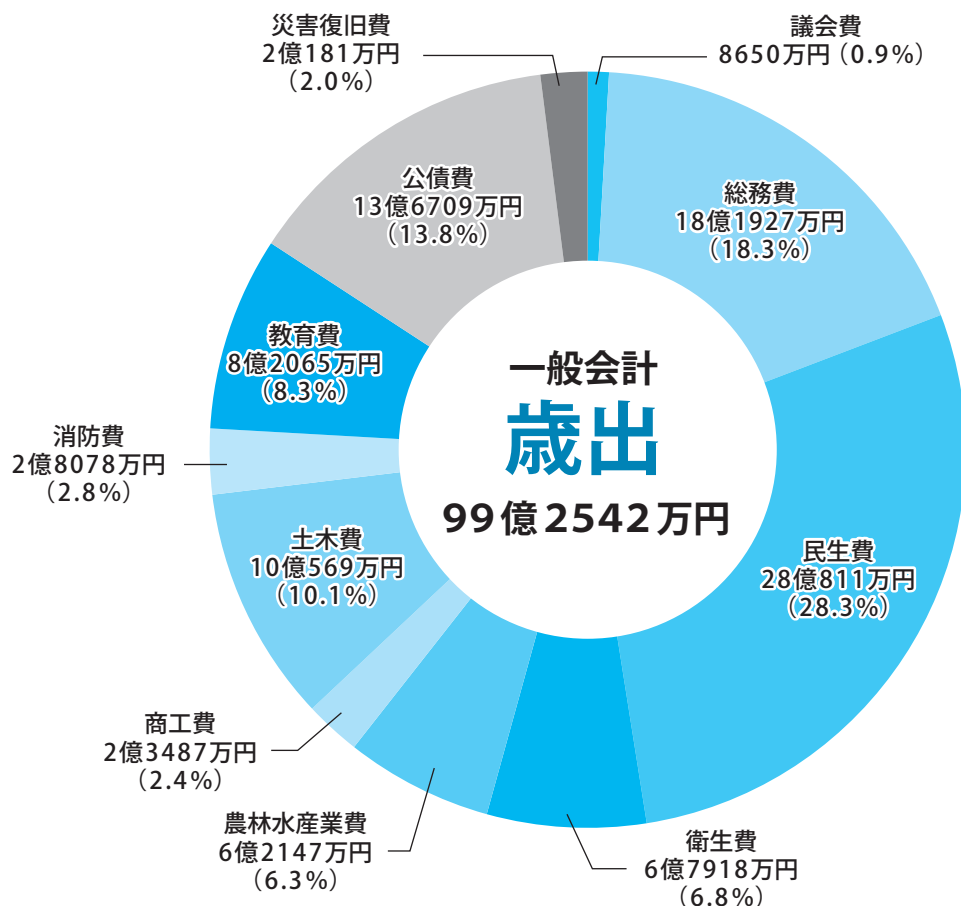
町債(借金)と基金(貯金)の状況

【町債(借金)の残高】

会計名	平成30年度末残高	令和元年度末残高	増減額
一般会計	130億2517万円	126億3832万円	▲3億8685万円
特別会計	53億6417万円	45億834万円	▲8億5583万円
計	183億8934万円	171億4666万円	▲12億4268万円

【基金(貯金)の残高】

平成30年度末残高	令和元年度末残高	増減額
63億5761万円	61億9290万円	▲1億6471万円



令和元年度 特別会計・企業会計の決算状況

【特別会計】

会計名	歳入決算	歳出決算	会計名	歳入決算	歳出決算
住宅新築資金等貸付事業	214万円	214万円	温泉事業	1661万円	1153万円
高齢者及び障がい者住宅整備資金貸付事業	4万円	4万円	下水道事業	10億7449万円	10億4356万円
国民健康保険事業	17億3300万円	17億2472万円	農業集落排水事業	1億7555万円	1億7555万円
後期高齢者医療	1億8484万円	1億8471万円	財(6財産区)	515万円	449万円
介護保険	18億8832万円	18億1341万円			

【企業会計】

会計名		収入	支出
国民宿舎事業	収益	2億6802万円	2億6696万円
	資本	3540万円	6990万円
水道事業	収益	2億4184万円	2億2045万円
	資本	2340万円	9328万円

決算審査 特別委員会

令和元年度の各会計決算認定は、議長と議会選出監査委員を除く10人で構成する決算審査特別委員会に付託され、審査しました。おもな質疑を紹介します。

東郷梨地域連携 プロジェクト

事業の成果は

問 事業が5年間で終了したが、その結果は。

答 加工会社が参入され、町も連携して特産品の有効活用に取り組んでいる。

答 梨の木オーナー制度を確立し、その権利がふるさと納税の返礼品になっており、特産品のPRにもつながっている。

問 「梨の葉茶」の取り組みは。

問 対象農地は耕作放棄地なのか。

答 二十世紀梨の若葉が多く含まれるので、茶葉として販売する会社に原材料として出荷している。

問 後継者のない農地を引き継いでいく。耕作放棄地ではない。

問 専門家へ3年間の委託事業のようだが、これで完結したのか。

答 後継者のない農地を引き継いでいく。耕作放棄地ではない。

答 二十世紀梨の若葉が多く含まれるので、茶葉として販売する会社に原材料として出荷している。

問 6次産業化をめざすプロジェクトだったか、順調にしているのか。

答 加工会社が参入され、町も連携して特産品の有効活用に取り組んでいる。

問 6次産業化をめざすプロジェクトだったか、順調にしているのか。

答 加工会社が参入され、町も連携して特産品の有効活用に取り組んでいる。



観光客を待つモニュメント

海の駅とまりブランド化 今後の取り組みは

問 専門家へ3年間の委託事業のようだが、これで完結したのか。

問 モニュメントを設置したが、生活道路から外れ、住民は無関心。

答 専門家による支援指導は終了した。

問 モニュメントを設置したが、生活道路から外れ、住民は無関心。

答 専門家による支援指導は終了した。

答 作家の意志を尊重し、インスタ映えるロケーションと判断して定めた。

答 作家の意志を尊重し、インスタ映えるロケーションと判断して定めた。

地域おこし協力隊

活動と会社の状況は

問

地域おこし協力隊は、「湯梨浜まちづくり株式会社」を拠点に活動している。会社の決算や事業報告をする必要があるのでは。

問

協力隊の活動が見えてこない。町が出資している以上、責任があり説明が必要だ。

答

町の出資比率の関係で、経営状況の報告義務はないが、会社の協力をいただき報告できたらと思う。

答

活動は、町報などで紹介していく。会社の状況は、なるべく早く説明できるようにしたい。



町民の相談に応じるスタッフ
(総合相談センター どれみ)

天女のふる里

東郷湖「花」基金

基金の活用は

問

基金を使って、どのような事業が行われているのか。

答

東郷湖周の桜植樹と保全、公園観光施設への植栽、自然景観の保全などの事業に基金を充当したい。

問

寄附者の思いにこたえるためにも、具現化して見せていくことが大切では。



トウテイランの保全へ支援を

答

今年度検討し、来年度の予算で事業化したい。

答

花基金は、花と緑のまちづくりの観点から、やることを明確に打ち出しているの、きちんと明らかにしていく。

放課後児童クラブ

支援員確保が課題

問

支援員不足は、なり手がいないのか、待遇面が悪くて応募がないのか。根本的な対策を考えているのか。

答

ハローワークを通じて募集を行っている。

問

1クラスの定員は40人か。

答

1クラス40人は基準であり、40人を超えても受け入れる対応はしている。



運用を開始した羽合第2放課後児童クラブ

令和元年度決算審査特別委員会

審査報告（抜粋）

決算審査特別委員会に

付託された、17会計の決算と2会計の剰余金の処分について、すべて原案のとおり認定及び可決すべきものと決定しました。

決算審査過程でのおもな指摘・意見・改善事項を付記して、委員会報告としました。

天女のふる里東郷湖「花」基金積立金

どのように事業展開がされていくのか、納税者の思いを大切に、町民にわかりやすく発信し、スピード感を持って取り組んでほしい。

地域おこし協力隊事業

現在、まちづくり会社を拠点に協力隊員3人が活動しているが、活動状況が町全体に見えていない。

また、決算報告の義務

はない会社であるが、町が出資している会社でもあり、議会に対して早い段階で報告をしてほしい。

放課後児童クラブ事業

支援員の確保が大きな課題となっている。

近年、利用者が増加しており、影響を受けるのは子どもたちである。

民営化も検討しているようだが、メリット、デメリットを把握し、慎重に、そして早急に対応してほしい。

東郷梨地域連携プロジェクト

5年間の事業が終了し、補助金がなくなったことで、生産性が確保できののか心配される。

梨の木オーナー制度を確立、また特産品の有効利用として「梨の葉茶」の原材料生産にも取り組んでいる。

今後、生産意欲を継続させるためにも、必要な支援をしてほしい。

海の駅とまりブランド化事業

今後も、積極的に展開しブランドとして確立していくべきである。せつかく出来上がったものが縮小しないように継続してほしい。

また、モニUMENTが設置されたが、もう少し目立つ場所に移動したほうが良いと思われる。観光客を誘導するようなルート設定など、全体計画をまとめ、今後も進めてほしい。

決算審査意見

代表監査委員 金涌孝則
議会選出監査委員 光井哲治

町有施設の維持管理、更新等について

町内には、町有施設が多数存在する。耐用年数を経過した施設、使用されていない施設なども見受けられるが、多くの施設は今後の方針が決定されていない。

早期に方針を決定し、財源を確保しながら、計画的に再編・更新

新等を進めていく必要がある。

また、維持管理経費の面からも、早期の計画検討が必要である。

法令により法定点検が義務付けられている施設があるが、令和元年度に法定点検が行われていない施設があった。

再度、法定点検の実施状況を確認し、法令を順守すること。



決算審査特別委員長の審査報告

補正予算

☆一般会計は、歳入歳出それぞれ8億149万円を追加し、補正後の予算の総額を134億2130万円としました。

おもな内容を紹介し
ます。

古民家で民泊

・観光客の心に響く滞在型地域創造事業補助事業

300万円

町内の古民家を交流民泊施設として再生する事業者を、県補助金を活用して支援する。

利用されていない古民家を有効活用することで、新たな関係人口の拡大がはかれることを期待するもの。

体育館を解体

・コミュニティ施設管理臨時経費

4165万円

老朽化した桜コミュニティ施設体育館を解体する。

羽合西コミュニティでは、バスケットボールの取り替えなどを行う。



解体される体育館

水利施設を機能回復

・農業水路等長寿命化・防災減災事業

300万円

長和田地区の水路整備工事に加えて、山田谷ため池で防水シートの経年劣化による損傷が見つかり、貯水量確保のため補修工事を実施する。

梨産地の維持に向けて

・農地耕作条件改善事業

500万円

松崎駅南梨生産団地整備区域で、一部土壌の透水性が低いため、排水機能を高める必要がある箇所に、改良工事を実施する。

イチゴ産地を支援

・戦略的園芸品目（イチゴ「とつておき」）総
合対策事業

35万円

鳥取県育成のオリジナルイチゴ品種「とつておき」の普及・振興をはかるため、販売促進、生産基盤整備などの経費を支援する。



クリスマスに向けて準備中（イチゴハウス）

梨畑の廃園を防ぐ活動に支援

・園芸産地継承システムづくり支援事業

120万円

梨の生産面積が減少する中、生産活動の行えない樹園地を管理して、新たな担い手に継承する事業。保全作業を行うグループに費用の一部を助成する。当初予定の2か所に、優良園1か所30アールを追加する。

条例改正

下水道の超過使用料を値上げへ

・公共下水道条例の一部を改正する条例
・農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

水道料金も値上げへ

・水道事業給水条例の一部を改正する条例

下水道と同様の理由から、来年度より基本料金及び超過料金を値上げし、健全経営を維持する。

水道の開栓・閉栓手数料は値下げする。

将来的に受益者の減少や、老朽配管の改修などで、維持管理の負担増が避けられない。
そのため、不測の事態に備え、来年度より超過使用料を値上げし、健全経営を維持する。

設備の老朽化・耐震化のため料金改定

☆「上下水道料金検討委員会」より、料金改定の意見書が提出され、町は、具体案作成にとりかかった。

安心・安全な水道水を安定的に住民の皆さんに供給しようと考えたとき、設備の老朽化・耐震化の対応が必要になってくる。上下水道事業を安定的に維持するための議論を行った。

問 9月に条例が整備されるが、上下水道使用料の改定はいつ行われるのか。

答 町長は、来年4月に料金改定と明言されている。コロナの関係もあるが、状況を見ながら対応したい。

問 料金体系は、どのようにして決定していくのか。

答 町は、検討委員会から提出された要望事項をふまえ、決定していく。

問 料金改定は、今後どのような計画を考えているのか。

答 5年をひと区切りとして計算し、大体3年ごとに見直していきたい。

農地の維持管理に新たな取組み

☆多面的機能支払交付金事業は、農地を地域の活動で管理していく団体に支援する事業。

今年度より東郷地区を中心に10団体が広域組織「湯梨浜町みどりの保全会」として統合され、事業に取り組んでいく。

問 会計、事務担当は新しく雇用されるのか。

答 東郷土地改良区の事務員が、週2日担当される。

問 統合されるメリットは。

答 事務負担が軽減され、現場活動に専念できる。

また、町の事務作業も低減される。

問 5年間で活動を終了した集落がある。今後この事業を続けていけるような働きかけを考えているのか。

答 広域化を含め、声かけをしていきたい。

堆積場の安全管理は

☆ウラン残土の堆積場工事の目的は、地震により地滑りした捨て石が、河川などに流出するのを防止し、表面線量を低減するというもの。

問 麻畑2号坑の二期工事は、いつごろ始まるのか。

答 早くても令和3年9月、10月ごろと聞いている。



災害対策に着手する堆積場（麻畑）

問 目的に線量の低減とあるが、今の線量の数値はどの程度か。

答 年間1ミリシーベルト以下で、基準値以内の数値である。

問 堆積場は何か所あるのか。また、今後の予定は。

答 方面に4か所、麻畑に4か所ある。今後、順次安全対策工事を行っていく予定。



水道の安定供給をめざし施設保全（羽合浄水場）

東郷ダムの事前放流

☆令和元年の東日本台風を受け、政府はダムの洪水調節機能の強化方針を打ち出した。

①全国すべてのダムで「事前放流等」を実施する。

②水系ごとに河川・ダム管理者と関係利水者で、事前放流の「治水協定」を締結する。

東郷ダムは、治水（洪水対策）と利水（生活・農業用水などに利用）を兼ねた多目的ダム。

事前放流は9月から1か月かけて実施し、利水の3万トン確保しておく。

その後、12月から貯水が始める。



治水・利水を兼ねた東郷ダム

問 関係利水者との協議はどうするのか。

答 利水協定は、すでに地元と締結済み。

治水協定は、県と町で行う。

問 地元に対しての説明はないのか。

答 利水は確保しているのに、地元には影響がなく、説明会はないと聞いている。

問 区長などを通して事前放流の周知はどうか。

答 その旨を、県に伝えたい。

農民生産者を支援

☆新型コロナウイルスの影響を受けた農業者の方で、本年2月から4月に野菜、花、果樹、お茶を出荷し、継続して次期作に取り組む生産者を支援する。

問 申請は、JAの部会で対応するのか。

答 イチゴ部会・ホウレンソウ部会の組合員は、JAが対応する。

それ以外の農業者は、個人が町に申請する。

新規移動販売に支援

問 どのような事業なのか。

答 買い物困難地域で、移動販売をする新規事業者に補助する。

問 対象地域はどこなのか。

答 関係課と相談し、検討したい。

答 東郷地区、泊地区、宇野、橋津の一部。

問 すでに移動販売をされている方が、新規参入により共倒れにならないか。なんらかの支援が必要ではないか。

答 ある。新規参入により共倒れにならないか。なんらかの支援が必要ではないか。



既存の移動販売にも支援を

たじりこども園の移転着手へ

☆老朽化が進み手狭となっている「たじりこども園」を、旧北浜中学校跡地へ新設移転する計画の具体化に向け、基本計画の策定に着手する。
旧北浜中学校跡地の全体活用計画は未定だが、園舎整備および園庭に必要な面積を約1500㎡と仮定し、幼保連携型認定こども園の用途として、今年度中を目途に作成する。

問

基本設計の完成とあるが、学校跡地利用の全容が未定の中で、こども園整備を優先的に計画するのか。

答

学校跡地への移設整備に向け、実際どれほどの用地が必要なのか把握しておきたい。



移転へカウントダウン
(たじりこども園)

それをいまえ、民間活用地との整合性をはかっている。
ていきたい。

問

地域の子どもたち希望どおり入園できるような定員設定なのか。

答

現段階では、まだ具体的な計画作成ではなく、とりあえず提案できる程度の内容で作成するもの。

問

今後、他市町村から移住してきても大丈夫か。

答

総定員数から見れば、現状でも入園は可能。

問

希望どおりに入園できる規模の施設が求められているが。

答

規模を大きくしても保育士が足りない。
ICT活用も視野に入れ、他町の導入状況を参考に検討したい。

転入の赤ちゃんにも支援

☆国基準を拡大し、令和3年3月31日までに生まれた赤ちゃんへ、10万円の給付を実施する。

問

他市町村から転入してきた方への対応は。

答

転入してこられる方も見込んだところで、130人分の予算を計上している。

問

転入前の住所地で、同様の給付金を受け取っておられる方がいるのではないかと確認はしているのか。

答

前住所地に確認するの、自己申告とするのかを検討中だが、自己申告を重視した方法をとりたい。

危険な状態の是正を強く要請

☆中央公民館泊分館の建替工事に着手しているが、体育館利用者などの通路と工事現場が重複しており、かなり危険な状況にある。

スポーツ少年団、社会体育の夜間利用者のために、安全通路の確保や、夜間照明の設置を指摘要請した。



夜間利用者の保護対策が必要
(泊分館前)

本会議での採決結果

9月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	寺地	浦木	上野	濱中	河田	増井	光井	松岡	米田	竹中	会見	結果
議案第88号 令和元年度湯梨浜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠席	賛成8人 認定
議案第115号 湯梨浜町公共下水道条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠席	賛成8人 可決
議案第116号 湯梨浜町農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠席	賛成8人 可決
議案第117号 湯梨浜町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠席	賛成8人 可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の議案は全会一致で可決及び認定しました。

請願・陳情審査

常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件名	請願・陳情者名	採決結果
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)
検察官の定年延長に係る閣議決定の撤回を求める意見書の提出について (陳情)	足羽 佑太	継続審査
日本国憲法第53条における臨時会召集について、法令等で召集期限を設定することを求める意見書の提出について (陳情)	足羽 佑太	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)

住民と議会の意見交換会

「住民と議会の意見交換会」の日程が決まりました。みなさんのお越しをお待ちしています。

開催日	時間	会場
11月4日(水)	午後7時～8時	活性化センターはまなす(泊)
11月5日(木)	午後7時～8時	中央公民館(東郷)
11月6日(金)	午後7時～8時	役場羽合庁舎 別館講堂(羽合)

感染症へ新たな支援策



コロナ禍にめげずにたくましく育て

ゆりはま赤ちゃん特別支援金

1304万円

国の基準日（令和2年4月27日）以後に生まれた赤ちゃん（令和3年3月31日まで）の家庭へ、町独自の支援金10万円を給付。

理美容事業者等応援給付金

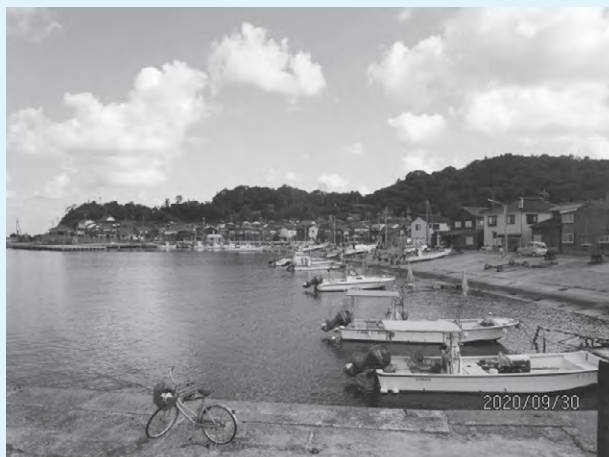
260万円

どうしても利用者との接触が避けられない業種の事業者へ、感染拡大防止対策のための応援金5万円を給付。

《対象業種》①理容業 ②美容業 ③エステティック業 ④リラクゼーション業（手技を用いるもの）⑤ネイルサービス業 ⑥あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師



利用客との接触に万全を期す



魚価低迷で出漁を自粛（泊漁港）

沿岸漁業者経営支援給付金

180万円

流通量の減少で魚価が低下し、売上高が大幅減少のため、漁協組合員へ支援金を給付。

- ・年間売上高40万円以上90万円未満の組合員 4万円
- ・年間売上高90万円以上の組合員 8万円

いまだ衰えぬコロナ感

昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の勢いは、いまだ衰えず拡大しています。

その影響は、地域経済にも大きな波紋となり、多種多様な業種へ、じわじわとダメージを与えています。

そして、一般家庭の収入減も表面化し、日常生活に暗い影を落としています。

そこで、国からの追加的財政支援を受け、町独自の各種政策などを駆使し、町民のウィズコロナ生活を応援します。

その中で、特徴的な支援策の一部を紹介します。



シャワールームの設置へ室内改修

国民宿舎水明荘改修

2527万円

宿泊者への新型コロナ対策や、災害時の宿泊避難所の提供を見越し、客室22か所にシャワールームを設置。

また、客室および共有スペースに空気清浄機22台を設置。

宿泊施設整備支援

2000万円

民間の宿泊業者に、観光客が安心して利用できるよう、感染防止対策への施設整備費を補助。

- ・ 上限400万円×5施設
(補助率4分の3)



観光客のにぎわい回帰を待つ温泉街

町政を問う

9月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

一般質問は、議員が町の事務の執行状況や将来の方針などを町長や教育長に問うものです。

本町議会の質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で、時間内であれば質問回数に制限はありません。

質問者	質 問 事 項	ページ
松岡 昭博	①タニシ防除へ新事業の創設を	15
	②「町民の声」を反映した町政の実施を	
上野 昭二	①7月豪雨を教訓に実践的対策を	16
	②過疎対策に移住定住の新たな一手を	
米田 強美	①新型コロナウイルスとの共生社会は	17
	②障がい者の外出支援を	
増井 久美	①コロナ禍へ支援拡充を	18
	②ゴミ袋を無料配布しては	
浦木 靖	①今後の地域のあり方は	19
竹中 寿健	①仮住まいの羽合分館の新設を	19

タニシ防除へ新事業の創設を

町長

物理的防除や耕種的管理などに 取り組む



まつおかあきひろ
松岡昭博



ジャンボタニシ被害田（長江）

【問】東郷池周辺の湿田で、ジャンボタニシ（タニシ）の防除や耕作放棄地の発生防止が喫緊の課題になっている。

①今まで、タニシの防除体制をどのように整備し、どのような防除に取り組んできたのか。

②防除のため、物理的防除、耕種防除、化学的防除を行う事業を創設してはどうか。

③特産物の確保や湖周の美しい自然景観などを守るため、町は必要な場所を指定・支援し、保全管理を進め、耕作放棄地の発生防止に取り組んではどうか。

【町長】①平成30年度から緊急対策として、稲刈り後、水田を耕うんし、ジャンボタニシを死滅させる対策に取り組んでいる。

②物理的防除として、秋耕うん、取水、排水口に網の設置。畦畔沿いに溝を掘る対策。田植え直後の浅水管理が有効とされる耕種管理などを進めていく。化学的防除は環境に配慮し実施しない。

③農業振興地域整備計画に基づき、守るべき農用地域を定め農業振興をはかる。東郷池を含めた自然環境の保全と農産物の生産力向上をはかる。

「町民の声」を反映した

町長

個人情報にかかわるもの以外はすべて公表

町政の実施を

【問】町総合計画の中に「参画と協働による住民が主役のまちづくり」について、町民からいろいろな声が聞こえてくる。

①「町民の声」は、行政への住民参画に向けた多様な手法の一つだが、直近5年間の状況を見ても、受付件数に対する回答率は27%。そして公表率は10%と低い。なぜ、回答率、公表率が低いのか。

②職員接客態度について、どのように評価しているのか。

【町長】①回答率が低いのは、無記名が約8割と多く、記名された方への回答が約2割となっているためである。

公表率が低いのは、町民にかかわりが大きな事案など広く周知すべきと判断した案件のみを公表してきたためである。8月から、個人情報にかかわる案件以外は、すべて

ホームページで公表している。

②職員全員が同質の高いレベルまでいていないと感じている。新規採用職員は研修に参加し、基礎から指導を受けている。住民目線に立ち、丁寧な対応による住民サービスの提供、明るく町民に親しまれる役場づくりを呼び掛けている。

「町民の声」応募用紙

7月豪雨を教訓に実践的対策を



うえのしょうじ
上野 昭二

町長

過去の被災地を考え記録柱を新設



大水害の記憶を伝承し心の備えを
(水明荘玄関前)

【問】近年の豪雨災害は、線状降水帯が頻繁に発生し、幾度となく、災害危険レベル5が発せられている。

本年7月の熊本県・球磨川氾濫は、地理条件的に天神川流域と酷似しており、危機感を感じた。町民の命は必ず守れるよう、減災対策が最重要と考え提案する。

①区長との連携に、携帯無線機の配備。

②町内要所へ常設カメラの設置と、対策本部へ集中モニター監視所の整備。

③水害歴史の記憶継承へ、東郷池周辺自治区の要所に水位記録柱の設置。

【町長】①携帯無線機の配備については、配備体制や対象者の問題、また、同時に話ができない点もあり今は考えていない。

②本町には、国、県が設置のライブカメラが15か所ある。今年度、原川・埴見川に設置の予定。その他、学校関係13施設と除雪用に2か所常設。集中モニター監視所の整備については、倉敷市の導入事例などを参照・研究する。

③水明荘玄関前に「昭和大水害記録柱」がある。そのほかへの設置については、過去に浸水した地域を考え対応したい。

過疎対策に移住定住の新たな一手を

町長

さまざまな観点から調査検討が必要



空き家・空き地の増加で過疎化に拍車（泊地域全景）

【問】新型コロナウイルスの勢いは、なかなか治まらない。

経済活動との関係から、長期のウィズコロナ生活が強いられる。首都圏や大都市の住民は、現生活圏に縛られている。

子育て家庭では、せめて子どもたちだけでも開放できないものかと、心を痛めている。

そこで、離島留学制度のように、児童生徒単独留学や、家族まるごとの、移住定住を提案したい。

過疎対策の一環として、自己負担を軽減する、魅力ある留学制度の導入により、都市部救済の一助として、貢献してはどうか。

【町長】都市部の家族まるごと移住については、これまで対象だが、小中高生の単独移住となると、留学するメリットの創出や、学校現場や受け入れ先などの課題がある。それぞれの観点から調査・検討が必要で、その上で実施となれば過疎債や地方創生交付金などを活用する。

町の魅力、安心感など分析模索したい。

【教育長】移住定住してこられた小中学生を受け入れることは当然で、学校と連携して受け入れ体制を整え歓迎したい。

新型コロナウイルスとの 共生社会は

町長

国、県の方針に沿ってイベント開催



よね だ つよ み
米 田 強 美



笑顔輝く、ゆりはま子育て応援フェスタ
2020（ハワイアロハホール）

【問】コロナ感染症の影響が懸念される。

- ① 貧困対策の計画策定には、実態の把握が重要だと考える。どのように進めるのか。
- ② 固定資産税の軽減措置。土地分については税額に見合う支援ができないか。

【町長】① 町の次期総合計画策定作業の中で、子どもの貧困対策計画として作るのか検討したい。

- ② 土地の固定資産税の減免に代えた支援は考えていない。

本町と倉吉市が独自の家賃支援給付制度を設けており、倉吉市と本町の支給対象の整理をはかった。

- ③ 介護サービス事業所などとも連携し、効果的な事業を引き続き推進していく。
- ④ イベント開催については、今後も、国、県の方針に沿って考えていく。

【問】障害者自立支援法を改正する形で、障害者総合支援法が2013年に施行。法律や制度は徐々に整備されてきたが、具体的なサービスなどは、常に検証が必要だと考える。

視覚障害の人から、外泊支援が受けられないと相談を受けた。町では外泊について、どのように対応しているのか。

また、町の移動支援サービスで、外泊サービスが行えないか問う。

町長

周知徹底をはかっていく

障がい者の外出支援を



新しくオープンした障がい者生活支援センター
（レークサイド・ヴィレッジゆりはま）

【町長】外泊に係る、障がい福祉サービスの利用を希望される場合は、事前にサービス利用計画の調整を計画相談員が行っており、ぜひ相談してほしい。

また、地域生活支援事業の「移動支援」では、宿泊の場合も対応することが可能。

利用される場合は、町総合福祉課へ申し込み、利用していただく。

これらのサービス利用については、手帳交付の際などの機会を捉え、周知徹底をはかっていく。

コロナ禍へ支援拡充を

町長

町独自に新生児へ給付枠を拡大



増井久美

【問】コロナの影響はなかなか治まらない。現在の町への影響をどう把握しているか。

また、「農業者」も持続化給付金の対象になることが明らかになっている。周知して農業者を応援すべきではないか。

特別給付金を申請日以降に生まれた新生児にも支給してはどうか。

9月議会に水道、下水道料金の引き上げが提案されているが、このコロナ禍のときに引き上げすべきではない。

提案を中止し、町民応援のため上下水道料金の免除をしてはどうか。



コロナに負けるな 手洗い励行

【町長】影響の把握は、各団体や事業者、一人暮らしの高齢者、障がいのある方など、各担当課が直接伺い取り組んでいる。農業者への周知は、町ホームページやTCC文字放送などで広報している。

新生児への支給は、町独自の施策として、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した子どもの家庭へ、1人当たり10万円を支給することとした。

水道料金については、非常に厳しい状況であり、来年4月1日からの料金改定を御理解いただきたい。

ゴミ袋を無料配布しては

町長

現行の限定配布を拡大

【問】本町のゴミ袋は、合併当初から敬仁会館1社との随意契約となっており。なぜ随意契約なのか。

また、北栄町、琴浦町、三朝町も敬仁会館との随意契約だが、あまりにも契約金額に差がある。なぜ本町は他町に比べ高いのか、その理由を聞きたい。

現在、コロナ禍の中でどの家庭も、少なからず影響を受けている。

マスク購入、消毒液購入、ゴミの増加など個人で対処するものも多い。各家庭応援のため、ゴミ袋を無料配布してはどうか。



コロナで家庭ゴミ増えたか

【町長】随意契約については、平成25年11月に「湯梨浜町障がい者就労施設等優先調達方針」を制定し、優先調達の対象物品であるゴミ袋は、県中部で対応できる障がい者就労施設が1社しかなく、随意契約を締結している。

契約金額の差については、外国製品か国産品か

の違いがある。国産品を使用している3市町の中では、発注数量が一番多い本町が一番安いと聞いている。

現在、無料配布については、3才未満の乳幼児がいる世帯など、特定の世帯に限定し、年間にゴミ袋の大を50枚提供している。

今後の地域のあり方は

町長

鳥取型「新しい生活様式」で 活性化を



うき やすし
浦木 靖



多くの住民が参加しての花ガーデン
づくり（泊地区）

【問】コロナ感染予防対策を、住民の方は積極的に取り組んでおられる。ただ、そのことにより、地域・行政などの事業が中止、短縮となり、人との交流が少なくなっていると思う。

今後、感染症が3波・4波と続き長期化した場合、人と人とのふれあいが基本になっている地域のづくり・あり方についての対応策を考えているのか。

また、認知症の人や家族介護者、そして高齢の人が孤立しないように、その対応、対策を考えているのか。

【町長】新型コロナウイルス感染症予防策の自治会向けには、鳥取型「新しい生活様式」に即した資料を作成し、注意点や工夫例を紹介し、地域の活性化に取り組みたい。高齢者の孤立防止には、声かけ・見守りが必要な方へ感染予防を徹底しながら、取り組みを強化していきたい。

【教育長】公民館活動は、中止や延期が続いている。今後は、3密を避け、マスク着用や手の消毒を励行し、可能な限り多くの事業を実施したい。

仮住まいの羽合分館の新設を

町長

仮住まいという認識はない



たけ なか けん
竹中 寿 健

【問】中央公民館羽合分館は、アロハホールを借りて運営されている。趣味やサークルなどの発表する場はあるのか。

文化活動の低下が懸念される現状について問う。

旧羽合地区は、パイパス開通などにより、人口増加が予測される。

新しい町民との地域交流、文化交流は不可欠である。気楽に集える公民館、また防災拠点として、公民館新設を強く要望したい。



羽合地区の社会教育拠点（羽合分館）

【町長】羽合分館をアロハホールに移したもので、仮住まいという認識はない。

【教育長】平成26年からは3館体制で、社会教育の充実に取り組んでいる。作品展示は、アロハホール東側廊下の壁面に写真やパネルを飾っている。転入された方との文化交流は、公民館だよりなどを活用し、事業参加に努めていきたい。

町民インタビュー

「私の故郷の未来」

山田 太一 さん（宇谷）



私の生まれた場所は、海と山に囲まれた泊村と呼ばれた小さな村でした。毎日、友達や上級生のお兄さんたちと虫取り探検や海水浴などをして自然の恩恵をいっぱい体験しました。

当時通った泊小学校には、芝生の校庭、山の中のアスレチック、牧場、梨畑、スタンドグラスのあるランチルーム、プラネタリウムなど、自然と最新の設備とが融合した国内でも珍しい学校で、ワクワクした学校生活だったことを今でも思い出します。

私は現在、ドローンを使って映像を作る仕事をしています。湯梨浜町にはドローンが安全に飛行・撮影できる場所が豊富です。「空から見た故郷」そこには今まで知らなかった世界が無限に広がっています。

今は撮影が主体となっているドローンですが、今後、農業や工業、運輸などでの活躍の場がさらに広がり、湯梨浜町での

暮らしをより豊かにしてくれるでしょう。

町村合併により町は大きく賑やかになりました。たくさんの歴史や伝統文化を共有できるようになりました。北条バイパスの整備による交通の利便性の向上により、アフターコロナでは多くの人が訪れ、さらに賑やかになっていくでしょう。

しかし、一つだけ忘れてはいけないのが「人間は自然の一部」ということ。水も空気も土も美しい自然があるからこそです。

今ある自然と、テクノロジー。この二つが共存して発展していける。そんな街になってほしいなと願っています。



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

編集後記

今年の仲秋の名月は、10月1日で、その夜は雲もほとんどなく空気も澄み、絶好の月見日和であった。

朝方のほうが満月になっていくのこともあり、私は3時ごろに起き、外に出て西に傾いていた満月を見た。

ほんとに澄み切った夜空つて、こんなにすがすがしい気持ちにさせてくれるものかと、あらためて自然の大切さを思い、子どもたちにこの素晴らしいさを引き継いでやる必要があるのでは。

「地球を大切に、そして感謝・ありがとう」

（記 浦木）

【編集】

議会広報常任委員会